

人口減少と地域社会

3.15 金
15:00~16:30



講師：山下 祐介 氏

東京都立大学人文社会学部 人間社会学科 教授

日本の人口減少は、その原因の一端が東京一極集中にあるといわれています。首都圏には若い世代が集まっていますが、特殊出生率は全国でも最低ランクであり、首都圏への過剰集中を回避することが人口減少問題解決の鍵の一つとなります。

一方、「選択と集中」など、さらなる集中化によって人口減少に対応しようとする動きも見られます。

ここでは、そうした取り組みに隠れた課題を指摘し、今後の人口減少問題と地域社会の在り方についてみなさまと一緒に考えてみたいと思います。ぜひご参加ください。

次 第

15:00~16:00 講演、16:00~16:30 質疑応答

【講師略歴】

九州大学大学院文学研究科社会学専攻博士課程中退。

同大助手、弘前大学准教授などを経て、2018年より東京都立大学人文社会学部人間社会学科社会学教室・大学院人文科学研究科社会行動学専攻社会学分野教授。

主な著書に『限界集落の真実 過疎の村は消えるか？』（筑摩書房・ちくま新書、2012年）、『リスク・コミュニティ論 環境社会史序説』（弘文堂、2008年）、『「都市の正義」が地方を壊す 地方創生の隘路を抜けて』（PHP新書、2018年）、『地域学入門』（ちくま新書、2021年）など多数。

オンライン（Zoom）

定員：200名

参加費：無料

お申し込みはこちら

お申し込みの受付は

3月13日(水)17:00まで

となっております。

